

(人を対象とする医学系研究に関する倫理指針に則る情報公開)

このたび以下の研究を実施いたします。**本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。**

本研究の研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧をご希望の場合や個人情報の開示や個人情報の利用目的についての通知をご希望の場合も問い合わせ窓口にご照会ください。なお、他の研究参加者の個人情報や研究者の知的財産の保護などの理由により、ご対応・ご回答ができない場合がありますので、予めご了承ください。

【研究計画名】

COVID-19 感染症流行下における概日リズム睡眠・覚醒障害患者の睡眠/覚醒リズム変化の調査研究

【研究責任者】 国立精神・神経医療研究センター病院 臨床検査部 松井 健太郎

【本研究の目的及び意義】

概日リズム睡眠・覚醒障害は内因性概日リズムと社会生活で要求される睡眠/覚醒リズムの乱れが修正できないために入眠困難や起床困難、日中の過度の眠気等を生じ、日常・社会生活に支障を来す疾患です。COVID-19 感染症流行下に起こった生活様式の変化により、睡眠/覚醒リズムの乱れが身体的・精神的変調に繋がる可能性がある一方で、概日リズム睡眠・覚醒障害においても同様の影響を与えるかはまだ分かっていません。今回、COVID-19 流行下における生活様式の変化が、概日リズム睡眠・覚醒障害を有する患者さんの睡眠/覚醒リズムにどのような影響を与えるかを明らかにし、今後も起こりうる感染症の大流行の際に、概日リズム睡眠・覚醒障害の患者さんに対して適切な医療の提供を行う事を目的としています。

【本研究の実施方法及び参加いただく期間】

対象となる方

中学校等課程修了又は16歳以上の概日リズム睡眠・覚醒障害患者で、2020年1月から9月に  
当院精神科および小児神経科の睡眠障害外来を受診した患者さん

情報等：診療録（年齢、性別、身長、体重、居住地、社会的背景(職業、同居者の有無、通学/就労  
状況、通学/通勤時間)、服薬内容、既往歴、併存疾患、COVID-19感染症流行拡大前後のCGI-S、  
睡眠/覚醒リズムの改善を目的とした治療介入の有無およびその内容)

研究期間

2020年10月24日より2022年3月31日まで

2020年10月

○問い合わせ窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター病院

所属 臨床検査部 氏名 大槻怜

電話番号 042-341-2711 e-mail : otsuki.rei@ncnp.go.jp

○苦情窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター倫理委員会事務局

e-mail : ml\_rinrijimu@ncnp.go.jp